

宇部市 農業委員会だより

No.64

令和8年1月1日 編集・発行 宇部市農業委員会(電話34-8731)
〒755-0027 宇部市港町一丁目11番30号

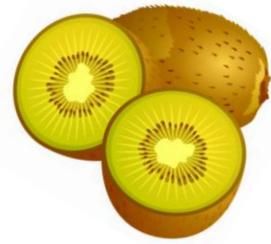


目 次

表 紙	1
農業参入法人のご紹介	
「①ニューガイアアグリ株式会社 キウイフルーツ栽培」	2 ~ 3
「②株式会社オータニ ビバ！ファーム」	4
茶園再生実演会	5
農業施策に関する要望書	6 ~ 7
各種お知らせ	8

キウイフルーツ栽培 ～茶畠を再生～

ニューガイアアグリ株式会社



ニューガイアアグリ株式会社（福岡市本社、高嶋秀雄社長）は、2017年に農業参入して以来、「ニューガイア キウイファーム」でゴールドキウイを栽培しています。

今では九州を中心に18ヶ所のファームがあり、宇部市には2023年に参入。荒廃していた小野の茶畠2ヘクタールを再生し、苗木1,700本を植栽しています。

3年目の今年、初めての収穫を迎えるとのことで、小野のキウイファームを訪問し、山口エリア栽培管理課の田中さんと西山さんにお話を伺いました。

【ニューガイア キウイファーム17 宇部小野
/ニューガイアアグリウェブサイトより】



キウイ栽培について

- 品種は黄色い果肉のゴールドキウイ「サンゴールド(※)」で、甘みが強く酸味が控えめなのが特徴。苗木にも雌雄があり、ここには雌しか植えていない。(1,700本植栽)
- 授粉は人工授粉で、花粉を赤色に着色してスプレー状にしたものを使いに吹きかける。
- 1本の木に300~500個の果実が実り、手作業で1つずつ収穫する。
- 収穫は2日か3日で終わらせる。収穫量は1日に約10トン。
- 授粉も収穫も手作業のため、その間は15人程度の人員を確保して、一気に作業する。



←次の収穫に備え、三角屋根のようにつるを持ち上げて育てている。

一度実をつけた枝は切り落とし、育てたつるを下に降ろすことで、新たな栽培が始まる。

※サンゴールドはゼスプリ社が長年の研究開発を経て生み出した品種

収穫したての果実は、まだ未熟の状態で愛媛県の選果場にトラック輸送され、ゼスプリ社の厳しい品質基準に合格したものが、関東、関西方面のゼスプリ倉庫に出荷され、そこから全国のスーパー等に陳列されるそうです。



市内のスーパーなど店舗に並んでいるゼスプリ・サンゴールドは、地元「小野産」かもしれませんね♪

キウイ果実を縦に指で挟んで、ほどよい弾を感じたら完熟☆食べごろです！

建設・不動産業からトマトで農業参入 (株) オータニ「ビバ！ファーム」

(株)オータニ（宇部市助田町、大谷英治社長）は、2024年10月に厚東地区の農園「ビバ！ファーム」でトマト栽培を始めました。

同社は1930年の創業から建設・不動産業を展開してきましたが、地域農業に新しい風を吹き込みたいとの思いから農業参入を決意。2024年8月に農地を借り、2,200m²の鉄骨ハウスを建設しました。施設は太陽光利用型植物工場で、温度や湿度、炭酸ガス濃度などの生育環境をコンピューター制御により管理しています。

取組1年目は試験的に2,000ポットの土耕栽培を行い、施設の状況や栽培方法等を確立したうえで、8月末から本格的な生産を開始。予防農薬はほとんど使わず、赤く熟した果実を収穫することで安心・安全で濃厚な味を追求しています。

収穫したトマトは、同社グループのイメージキャラクター、ビーバーにちなみ「ビバトマ」の愛称で県内スーパーや直売所に出荷し、将来は年間80トンの出荷をめざしています。

「今は既存施設の生産に力を注ぎ、将来はイチゴ栽培などにも取り組んでみたい」と大谷社長の夢は広がります。

宇部市は農業参入企業の育成に力を入れており、同社の取組を契機として更なる企業の農業参入につながることを期待しています。



【大谷社長(中央)】



茶園の再生に向けて実演会が開催されました

お茶は本市小野地区の特産品ですが、近年は担い手の不足・高齢化に伴い栽培面積は減少し、荒廃茶園も増加している状況です。

そのような中、農研機構西日本農業研究センターにおいて研究が進められている、雑灌木除去機械を利用した荒廃農地再生技術を紹介する実演会が令和7年11月6日（木）に開催されました。

当日は、お茶生産者や関係機関など約30名が参加し、農研機構担当者から再生作業に係る機械の説明と実演が行われました。

今回実演のあった機械はトラクタ装着型のフレールモア、無線トラクタ装着型フレールモア、造林作業で主に使用される乗用下草刈り機の3台です。いずれの機械も高さ2mほどに伸びた茶園の樹を刈り取ることができました。

この実演会を契機として、今後荒廃茶園の再生が進んでいくことを期待しています。



担当者からの説明



刈り取り後の状況



3台の実演状況

農業施策に関する要望書を提出

令和7年10月27日（月）、市長応接室において、農業委員会から篠崎市長に「令和8年度 宇部市農業施策に関する要望書」を提出しました。

農業生産基盤対策

- 1 河川に土砂が堆積した場合、大雨等洪水が発生した場合、河川沿いの水田に被害が生じることが想定されるため、以下の河川の浚渫を要望する。
 - ・大田川橋(宮ヶ崎から上小野間)上流200メートルから300メートル付近
 - ・厚東川の田ノ小野橋付近からJR山陽本線鉄橋付近
- 2 善和川にかかる農道用の橋の幅が狭く大型農業用機械が通行できない状況にあるため、橋の拡幅について検討していただきたい。

担い手確保対策

- 1 肥料や農薬などの資材や燃料、農業用機械などの価格が高騰しており、認定農業者や農事組合法人など担い手にとって厳しい状況が続いている。
担い手が安心して農業経営に取り組めるよう所得確保に係る支援を県に要請していただきたい。
また、市による担い手農業者に対する支援策全般の拡充（補助率の引上げ等）を検討していただきたい。
- 2 農業者の高齢化が進む中、農作業の軽減につながるスマート農業の推進は有効である。市独自の事業である「スマート農業導入事業補助金」を継続的に実施していただくとともに、補助率の引上げ等を検討していただきたい。

有害鳥獣対策

1 宇都市全域において、猪やサルなど有害鳥獣による農作物被害が発生している。特にサルについては、防護柵などによる対策が困難であり対応に苦慮していることから、効果的な対策を検討していただきたい。

また、カラスやヒヨドリ等の鳥類による農作物被害を防ぐため、捕獲等の対策を強化していただきたい。

その他

1 農業従事者の減少に伴い水路を維持管理する水利組合の存続が懸念される。水利組合を存続するための支援策を検討していただきたい。

2 厚東地区や船木地区等においてジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）が異常に繁殖している。駆除にも限界があり増殖を抑えることが困難な状況にある。県に対して駆除対策の指導を要請するとともに、薬剤等駆除費用の支援を検討していただきたい。



上田会長職務代理 篠崎市長 原田会長

各種お知らせ

収入保険、園芸施設共済に加入している 担い手農家を支援します

【対象者】

収入保険、園芸施設共済に加入している認定農業者または
認定新規就農者

【事業内容】

収入保険の掛け捨て保険料、園芸施設共済の掛金の一部を補助

★問い合わせ先★

宇部市役所 産業経済部 農業振興課 農地活用・担い手係
宇部市常盤町一丁目7番1号
TEL:0836-34-8563
E-mail:noushin@city.ube.yamaguchi.jp

農家のための農業者年金！！

あなたの老後の備えは十分ですか？

60歳未満の国民年金の第1号被保険者（保険料の納付免除を受けていない方）は、年間60日以上農業に従事していれば、配偶者、後継者の方も加入できます。なお、年齢等の要件により、農業者年金の保険料に国の補助（政策支援）を受けられることもあります。農業者年金は、あなたの老後をサポートします。

★問い合わせ先★

山口県農業協同組合宇部統括本部 TEL 0836-31-7611
宇部市農業委員会事務局 TEL 0836-34-8731

「全国農業新聞」購読料改訂のお知らせ

令和8年3月まで	紙面版 月700円/年8,400円 電子版 月500円/年6,000円
令和8年4月から	紙面版 月900円/年10,800円 電子版 月700円/年 8,400円

（いずれも消費税込）

購読の申し込みは下記まで！

★問い合わせ先★ 宇部市農業委員会事務局 TEL 0836-34-8731